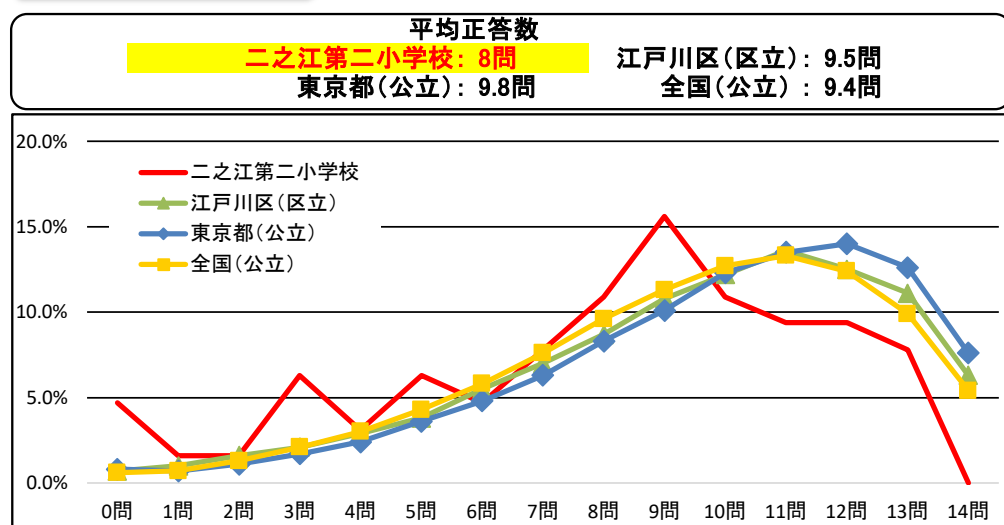


令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析表【国語】二之江第二小学校

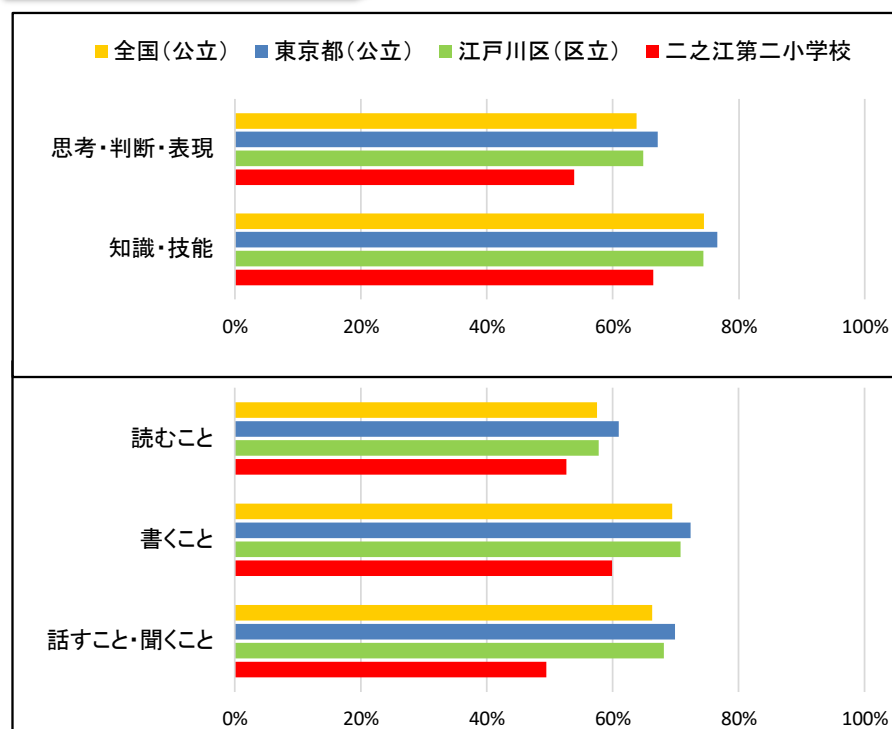
正 答 数 分 布



【平均正答率の差】

二之江第二小学校	57%
江戸川区(区立)	68%
東京都(公立)	70%
全国(公立)	66.8%
都との差(ポイント)	-13.0

「領域別」の結果

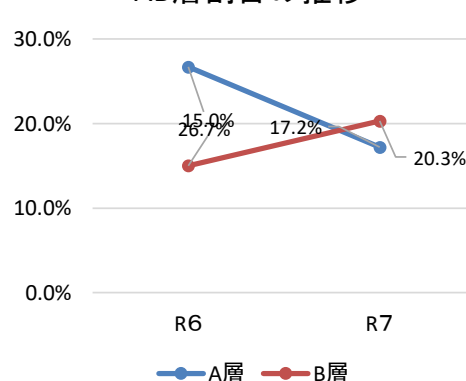


四 分 位 に お け る 割 合 (都 全 体 の 四 分 位 に よ る)

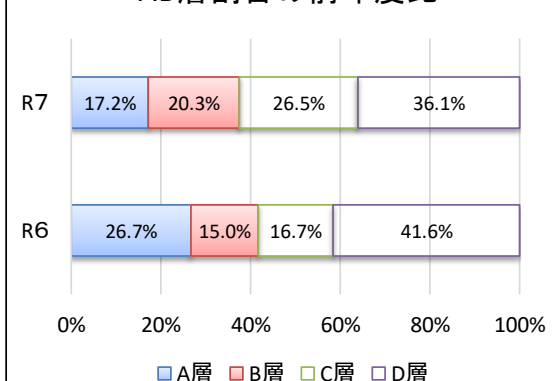
国 語	上位 ← → 下位			
	A層 12～14問	B層 10～11問	C層 8～9問	D層 0～7問
二之江第二小学校	17.2%	20.3%	26.5%	36.1%
江戸川区(区立)	30.0%	25.8%	19.5%	24.7%
東京都(公立)	34.4%	25.8%	18.4%	21.4%
全国(公立)	27.7%	26.0%	20.9%	25.4%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

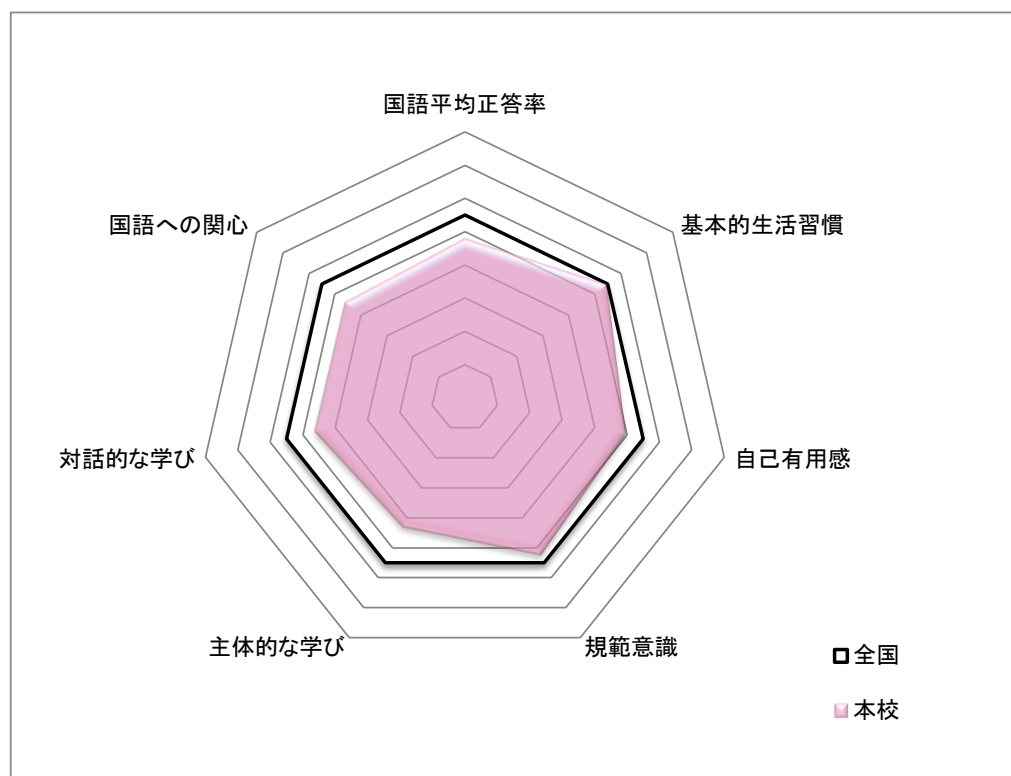
AB層割合の推移



AB層割合の前年度比



各 領 域 に お け る 、 全 国 平 均 正 答 率 及 び 、 全 国 の 肯 定 的 回 答 合 計 値 を 基 準 と し た 場 合 の 、 本 校 の 様 子 。



《チャートの特徴》

・全国のチャートと本校のチャートを比較すると、ほぼ全ての項目で下回っている。「基本的生活習慣」と「規範意識」は全国との差が小さいが、「主体的な学び」においては、全国との差が大きい。

《家庭・地域への働きかけ》

・筆箱や道具箱など学習に関する持ち物の統一化を図る学習スタンダードを活用しながら、家庭と連携し基本的な学習習慣の定着を図ることができるよう働きかけをしている。
 ・学習ボランティアを募集し、支援が必要な児童や学級に入り、学習の定着を図っている。

《現状把握》

●AB層の割合と取組内容について

R6年度とR7年度を比較すると、R7年度のA層はR6年度より約10%減少し、B層はR6年度より約5%上昇している。AB層として考えるとR6年度より約4%減少している。

《学校の取組》

・教員の指導力向上

・物語文と説明文の学習指導スタンダードを作成した。教員間で授業を見合っ、指導力を高めている。
 ・校内のOJT研修では、主任教諭が講師となり、指導に役立つポイントを教えて、指導力向上を図るための研修を行っている。また教諭も長期休業中に参加した研修について報告会を行い、指導力を向上させる取り組みを行っている。

・基礎学力の保障

・毎週火曜日の朝学習では、国語に特化した学習をしている。読解力や情報処理力を育てるために、新聞記事を読み問題に答える「よむYOMワークシート」も活用している。
 ・毎週木曜日と金曜日は、全校一斉に朝読書の時間としている。読書後には、読書カードに感想等を記入している。

・学習習慣の確立

・家庭学習は、学習時間を学年×10分を目標に取り組むように指導している。漢字ドリルの学習だけでなく、プリント学習やタブレットで行うデジタルドリルの学習も行っている。

・AB層への育成

・基礎基本の学習内容を活用した問題に取り組む。
 ・日常的に読書に親しむことができるように環境を整える。
 ・与えられた条件に合うように文章を書いたり、表現したりする。